

ふじみだより



令和7年3月号

桃の花咲く季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。富士見台特養では今年も鬼がやってきて、大暴れしました。お客様のお力を借りて昨年同様に見事、退治することができ、今年も安寧の年を送れるよう盛大に願いました。

鬼の後はかわいいワンちゃんも遊びに来て下さり、賑やかな毎日を過ごしております。春を前にしているとはいえ、まだまだ寒い季節が続いております。体調を崩されることがないように、どうぞご自愛下さいませ。

富士見台特別養護老人ホーム 職員一同



竹節分



★医務室より ～薬について～

ポリファーマシーとは、多剤併用（複数の種類の薬を服用すること）により必要以上の薬まで服用し、副作用や相互作用を起こすことをいいます。特に高齢者は複数の病気を抱え、病気ごとに薬が処方されるため薬が多くなりがちです。

高齢者では、薬物有害事象（ふらつき・転倒 物忘れ・記憶障害・気分がしずむせん妄 食欲低下 便秘 排尿障害・尿失禁）が老年症候群として現れることもあります。年齢のせいだと見過ごされがちであるため注意が必要です。

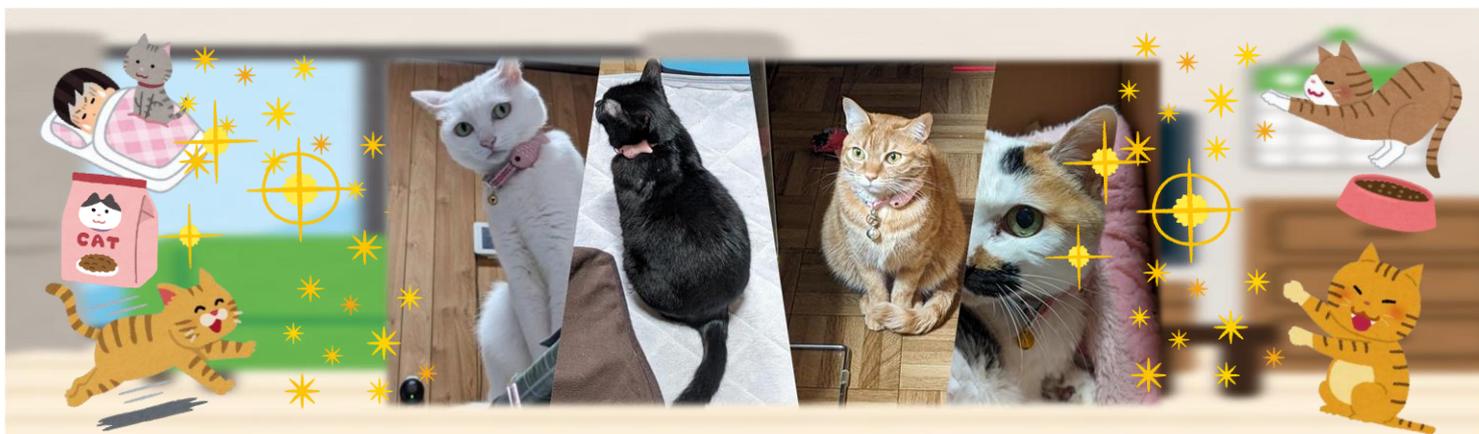
老年症候群を含めて薬との関係が疑わしいときは、処方をチェックし、中止や減量、またはより安全な薬剤への切り替えを医師・薬剤師と共に検討しています。

ご不明な点等ありましたら医務室までお問い合わせください。





今月のリレーエッセイは「田中 俊子」さんです。






















3月号を担当することになりました、介護士の田中俊子です。長い間、富士見台特養に勤めて60も半ば辺りになってしまいました。

2月22日が猫の日でしたので少しうちの猫の話をさせて下さい。

今、4匹の雌がいますが、一番年上の15歳の三毛猫が入院しました。老衰で採血の為のシリンジに血液がとれないほどですが、病院では人に囲まれてもゆったりして逆に嬉しそうにしていました。まだ元気で過ごしてほしいです。

次に年齢順、力関係順に黒>白>茶>トラです。

常に車間距離ならぬ猫間距離を保ちます。私の掛布団で縦に黒と白猫がパーソナルスペースを活用しています。茶トラは上を見て学んでいる様な気がします。

三寒四温の時節柄、皆様どうぞご自愛下さい。















